



ラサ工業株式会社

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年2月12日

証券コード：4022

目 次

- 1. 事業概要**
- 2. 2026年3月期 第3四半期実績**

1. 事業概要

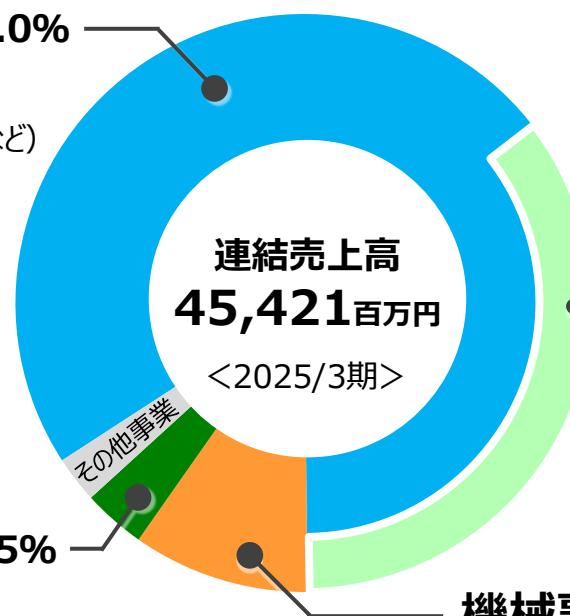
事業概要

会社概要

商 号	ラサ工業株式会社
本 社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創 建	1913 (大正2) 年 5月 1日
設 立	1918 (大正7) 年 6月 26日
従業員数	628名 (連結) <2025年3月31日現在>

化成品事業 38,168百万円／84.0%

- リン系製品
リン酸 (一般品、電子工業向け高純度品など)
リン酸塩など
- 凝集剤 (水処理用など)
- その他 (コンデンサー向け原料、消臭剤など)

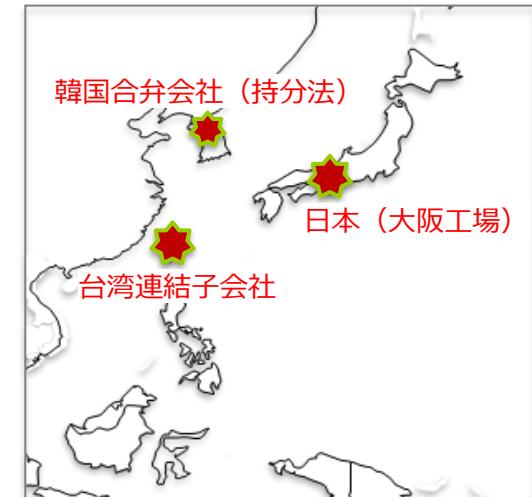


電子材料事業 1,574百万円／3.5%

- 化合物半導体向け高純度無機素材
(ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など)
- 放射性ヨウ素吸着剤

機械事業 4,491百万円／9.9%

- 建設機械 (破碎機、選別機、粉体機器)
- 土木機械 (掘進機 (上下水道向け))



- ▶ 半導体向け高純度リン酸の製造体制
うち、高純度リン酸
売上高 15,907百万円／35.0%
(日本 (大阪工場) と台湾連結子会社の合計)
 - ・ 半導体向け高純度リン酸 (エッチング液)
では、グローバルトップシェア

2. 2026年3月期 第3四半期実績

2026年3月期第3四半期 決算概要

- 売上高は、機械事業、その他の事業で若干の減収、化成品事業、電子材料事業では増収となり、全体では5.5%の増収。
- 営業利益は、半導体関連向け製品が海外および化合物半導体向けを軸に引き続き好調に推移したこと等により、47.6%の増益。
- なお、通期業績予想を2026年2月12日に修正。<詳細P.18>

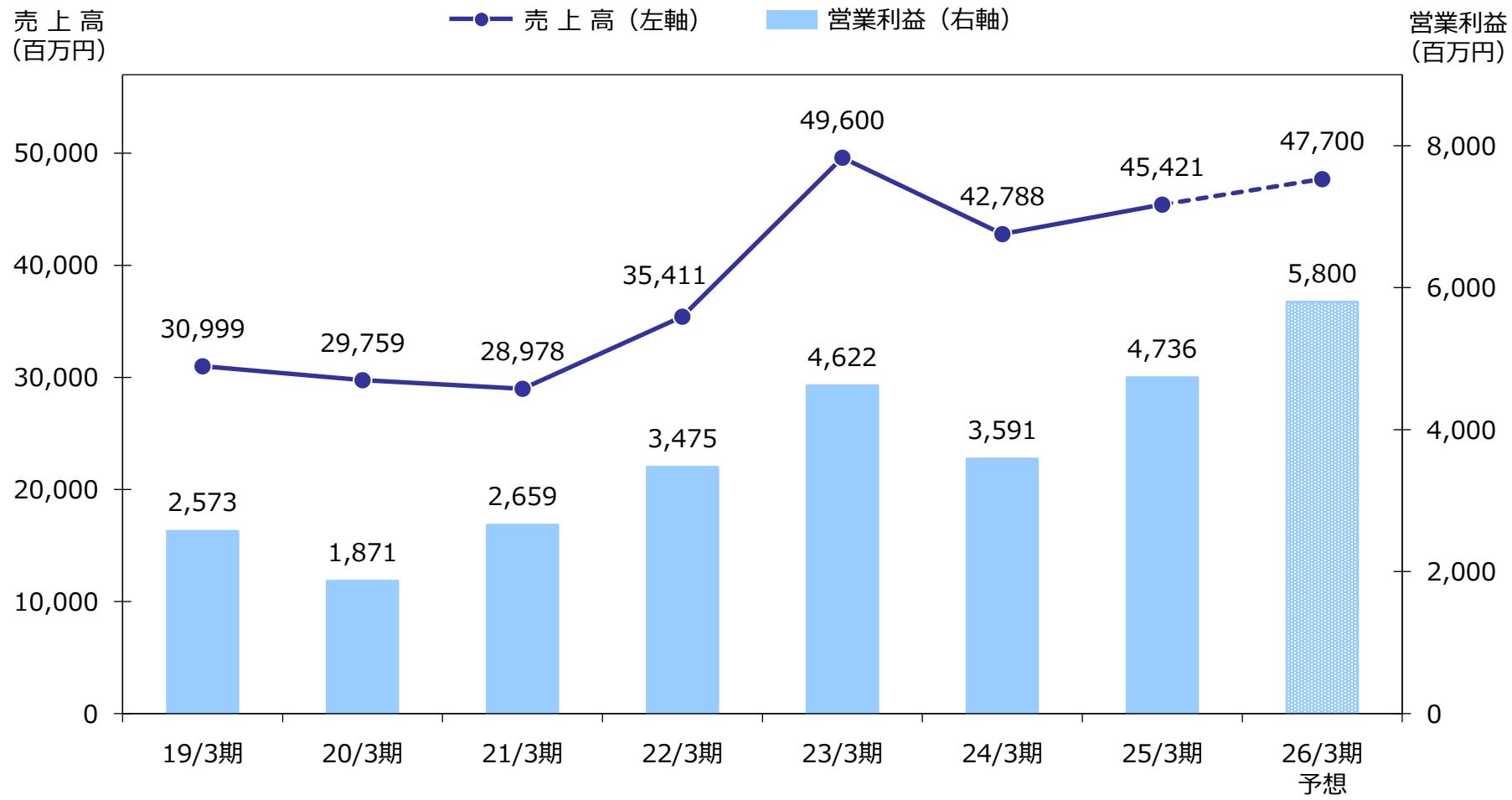
(単位：百万円)

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減	前年同期比	修正後 通期予想	進捗率
売 上 高	33,388	35,237	1,849	5.5%	47,700	73.9%
営 業 利 益	3,056	4,510	1,453	47.6%	5,800	77.8%
経 常 利 益	2,957	4,636	1,678	56.8%	6,000	77.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,004	3,235	1,230	61.4%	4,200	77.0%

(減価償却費) 1,360 1,330 △ 30 △ 2.2%

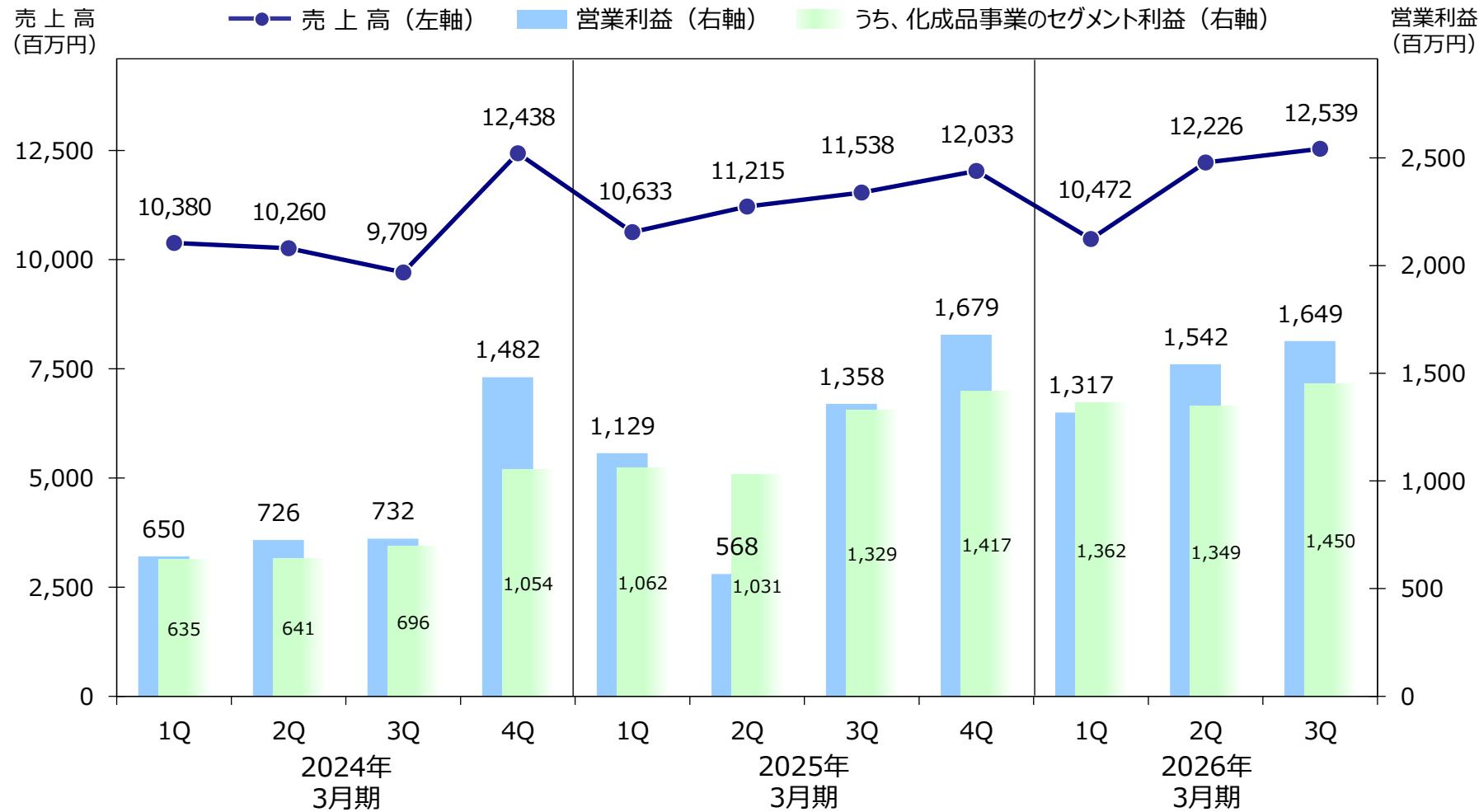
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

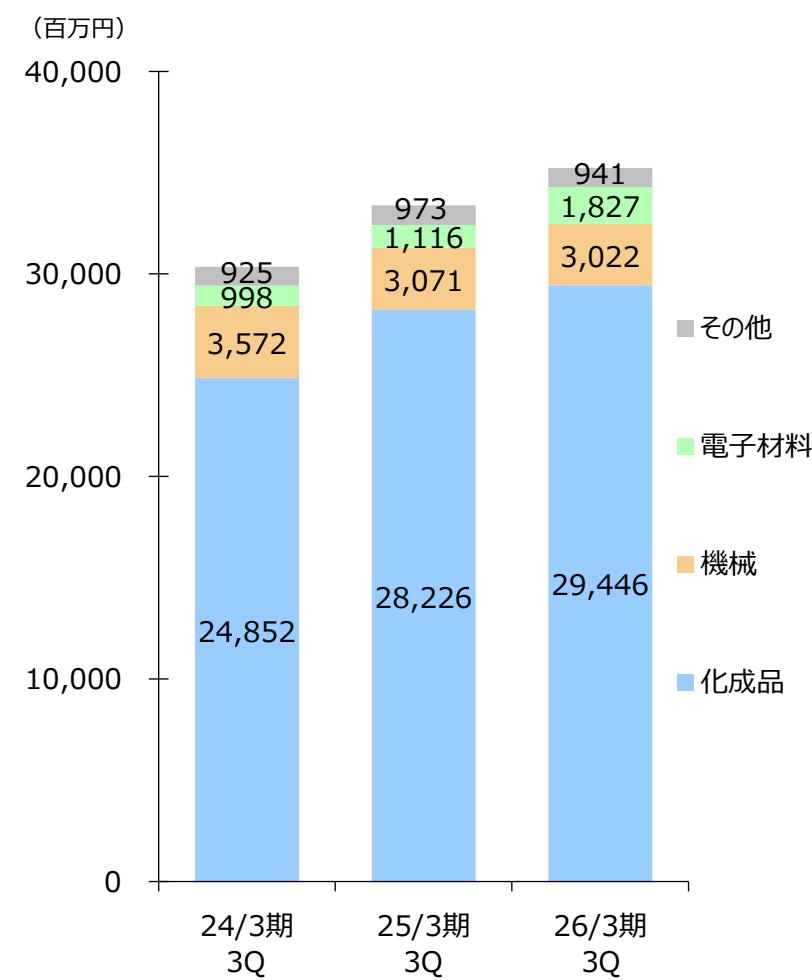
四半期売上高と営業利益の推移



2026年3月期 第3四半期 セグメント別概要 (売上高)

売上高の推移

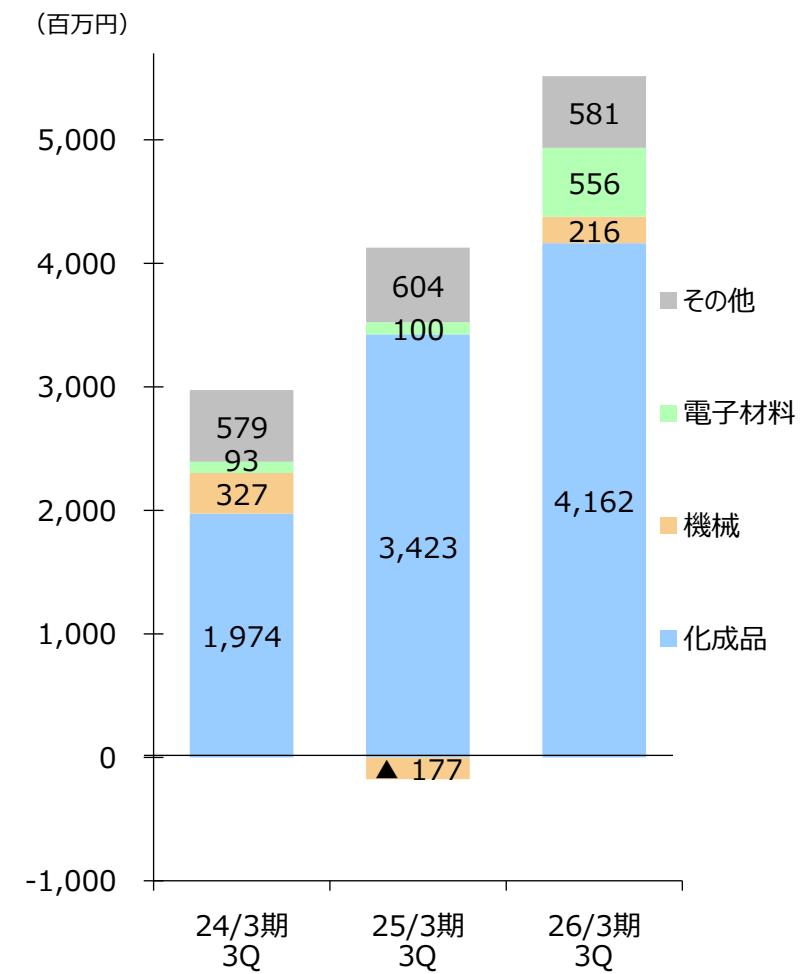
	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減	前年 同期比
化成品	28,226	29,446	1,220	4.3%
機械	3,071	3,022	△ 49	△ 1.6%
電子材料	1,116	1,827	711	63.7%
その他	973	941	△ 32	△ 3.4%
合計	33,388	35,237	1,849	5.5%



2026年3月期 第3四半期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

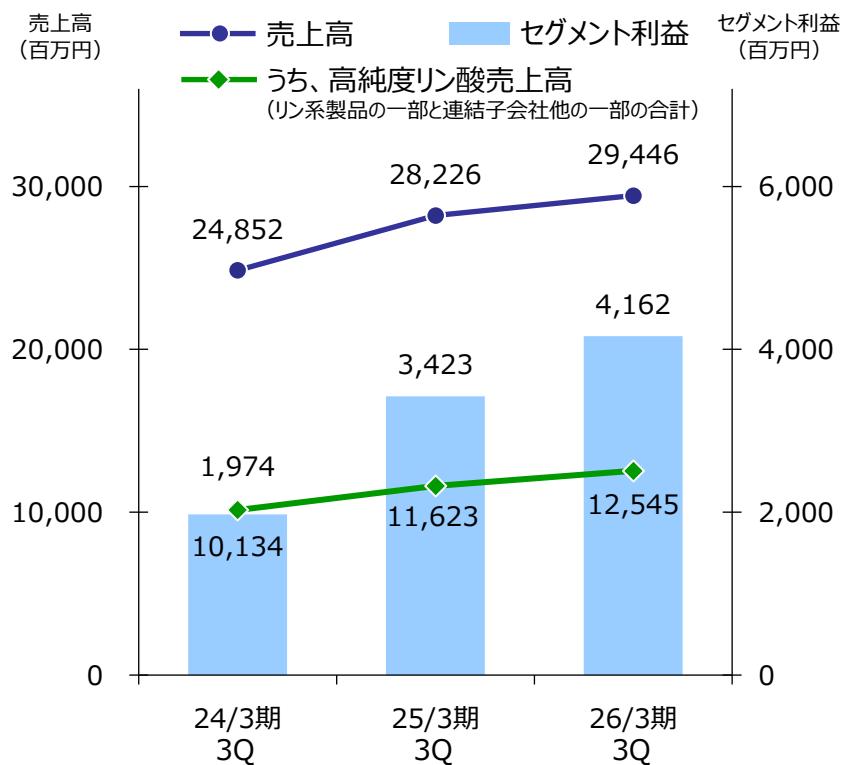
	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減	前年 同期比
化成品	3,423	4,162	738	21.6%
機械	△ 177	216	394	—
電子材料	100	556	456	456.0%
その他	604	581	△ 23	△ 3.9%
(調整額)	△ 893	△ 1,006	△ 112	—
合計	3,056	4,510	1,453	47.6%



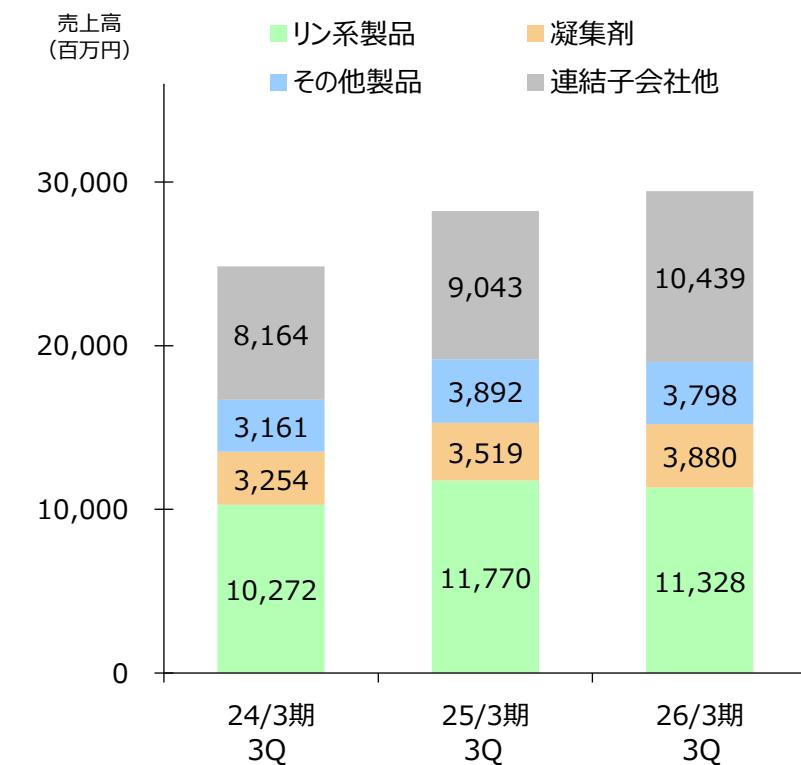
化成品事業

- リン系製品は、一般品向けが引き続き低調に推移し減収となったが、半導体向け高純度品において海外向けの堅調な販売が国内の減収分を補い、全体では増収。
- 凝集剤は、電子部品のエッチング用途向けが減収となったものの、上水道向け製品が堅調に推移したこと、全体では増収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が減収となった一方、消臭剤は増収。全体では減収。
- 営業利益は、半導体向け高純度品の海外向け販売や上水道向け製品が引き続き堅調に推移したことを主因として、738百万円(+21.6%)の増益。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

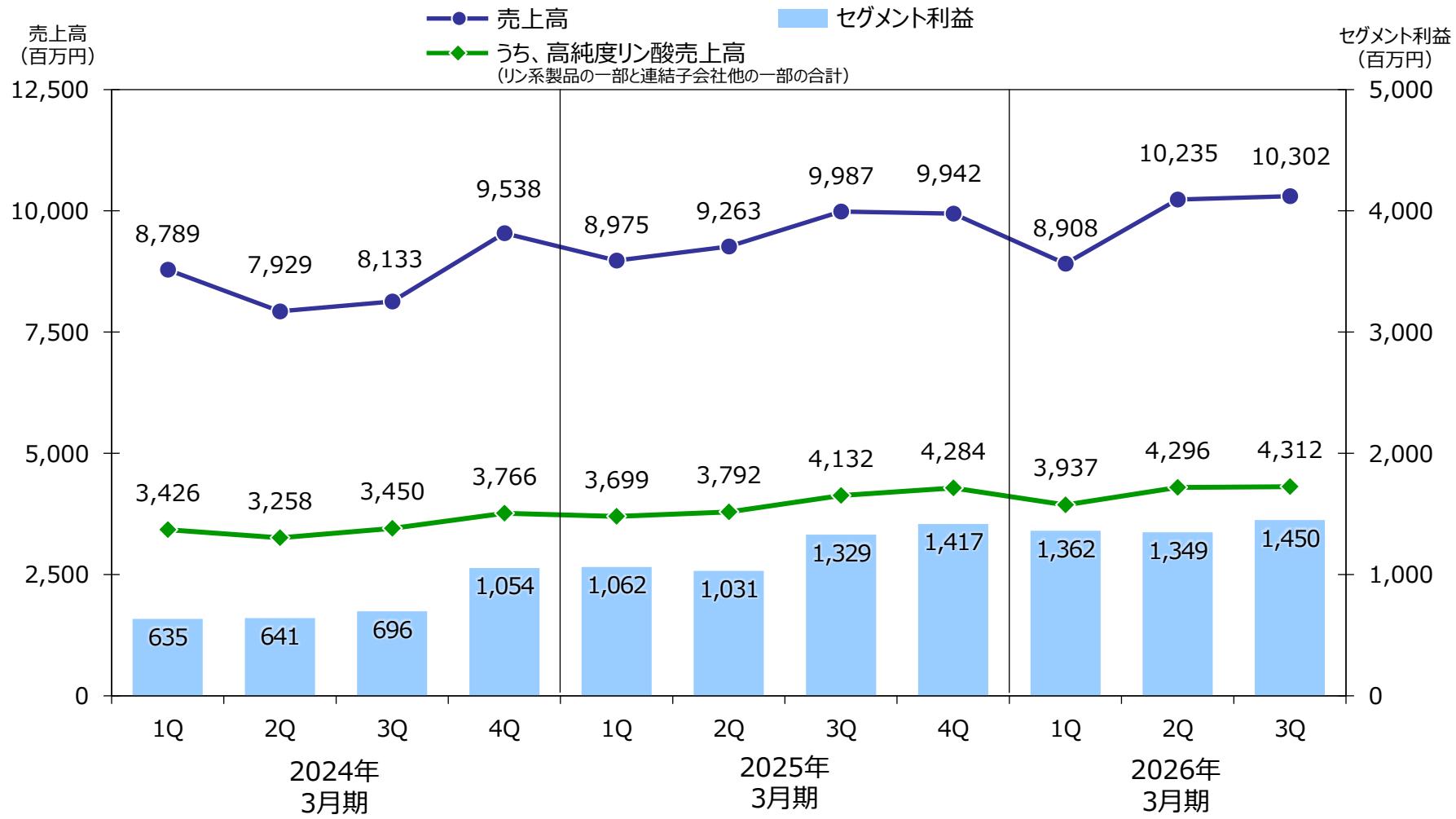


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

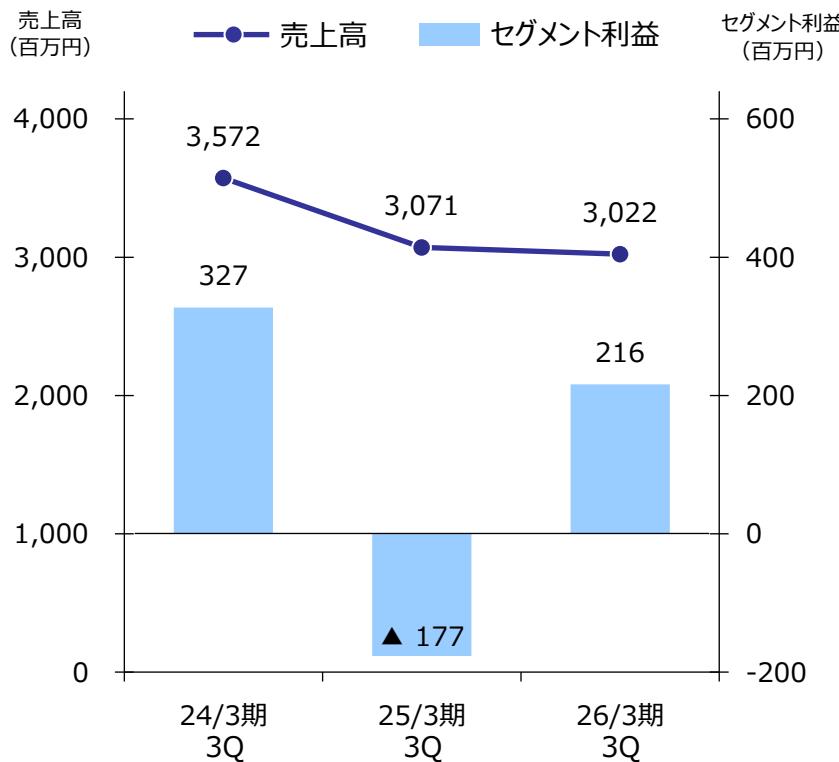
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



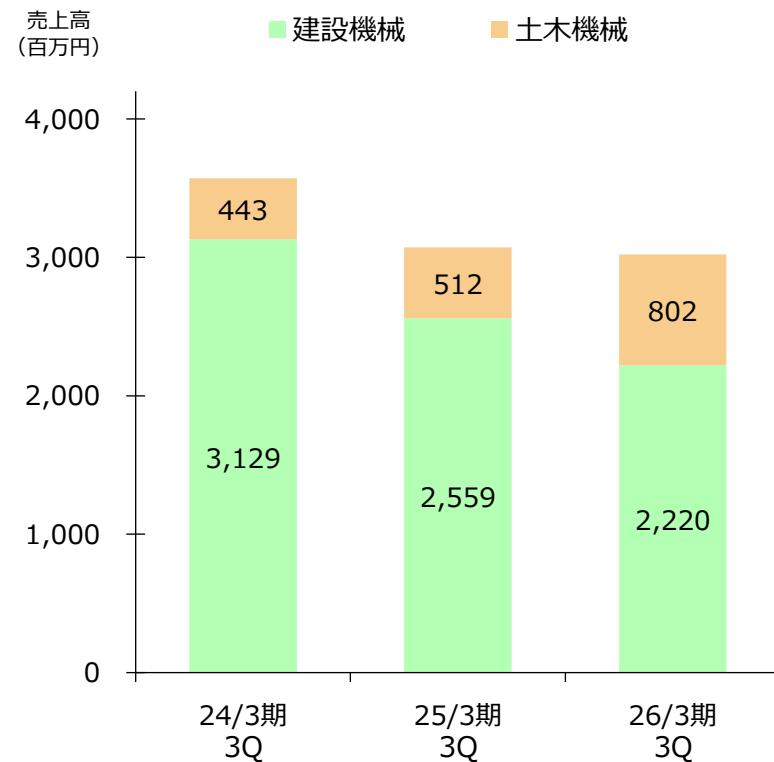
機械事業

- 建設機械は、破碎機などの本体販売、消耗部品販売、およびプラント販売がいずれも低調に推移し減収となり、精密機械加工は増収となったものの、全体では減収。
- 土木機械は、下水道関連向け掘進機のレンタル物件が引き続き堅調に推移したことに加え、本体の海外向け販売が伸長し増収となったことで、全体でも増収。
- 営業利益は、前期の棚卸資産評価損が無かったことに加え、土木機械の増収などが寄与し、394百万円（前年同期は177百万円の営業損失）の増益。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

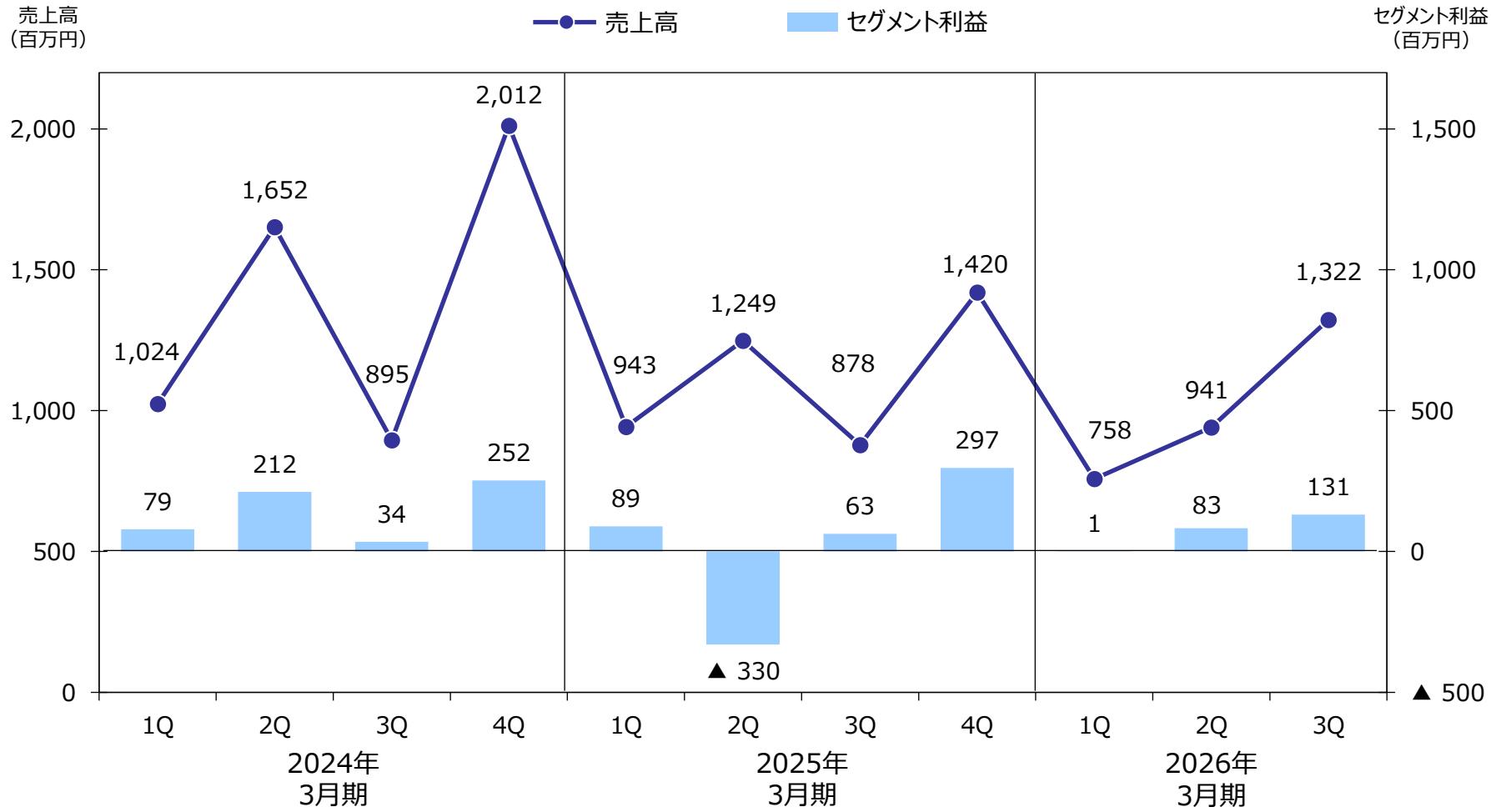


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

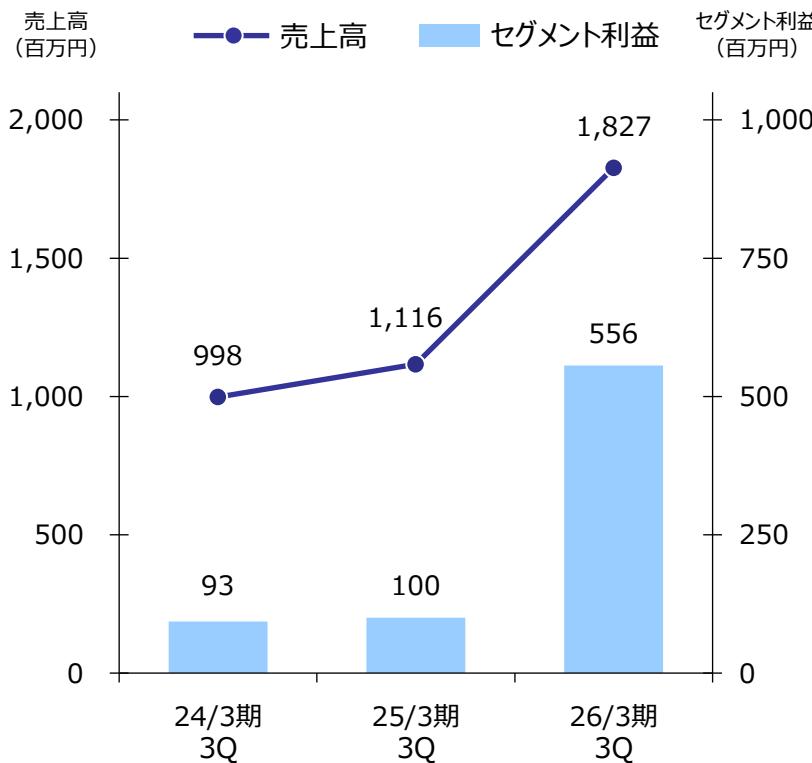
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



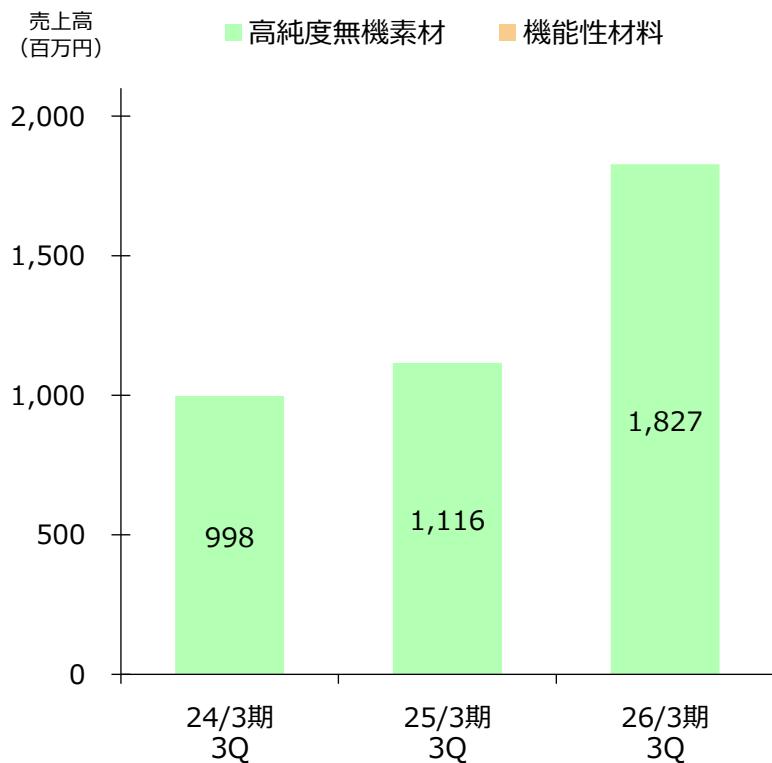
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、化合物半導体市況が堅調に推移し、赤磷およびインジウムは増収、ガリウムはスポット販売もあり大きく増収。
- 営業利益は、増収に伴い、456百万円 (+456.0%) の大幅増益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

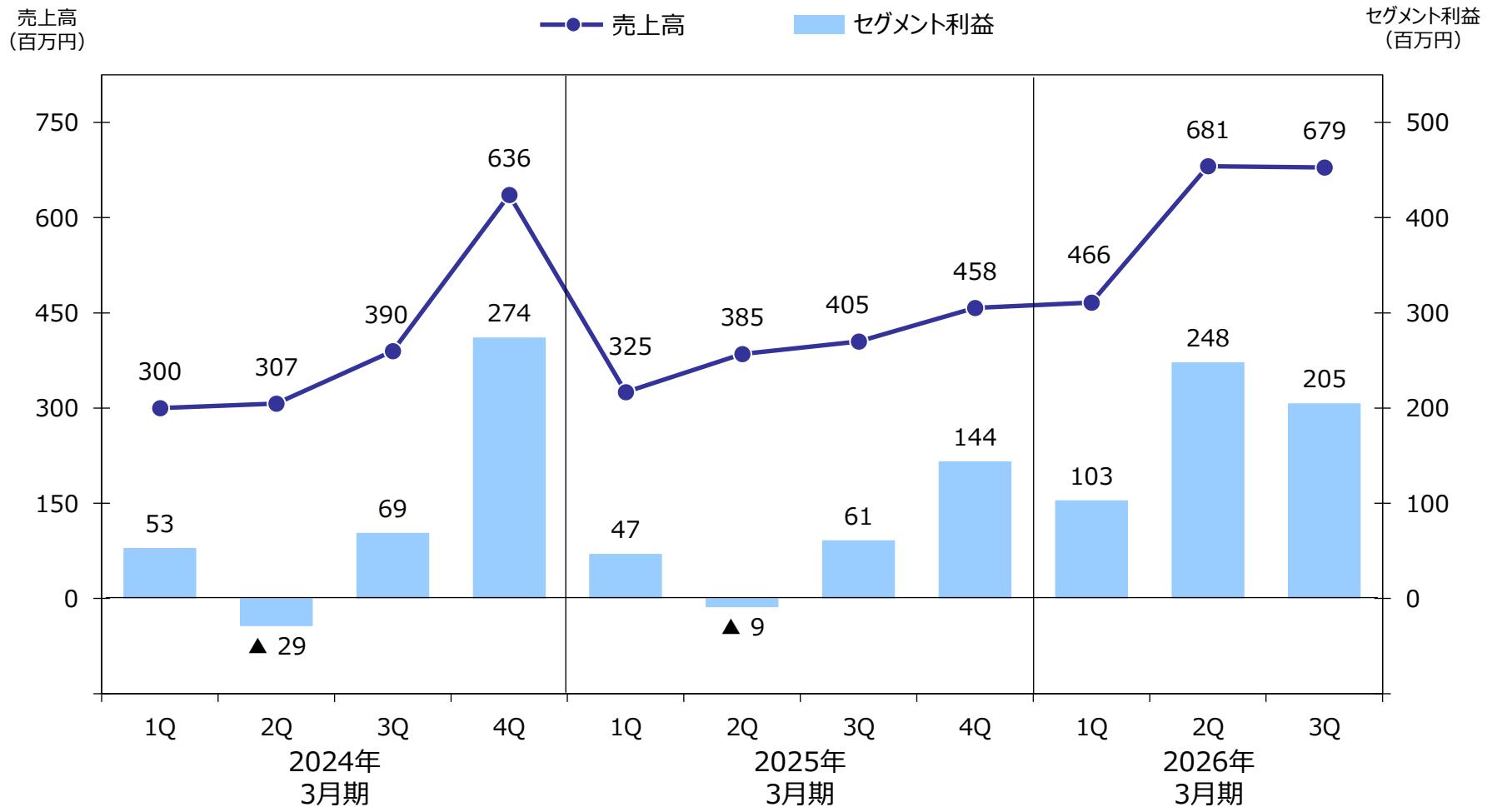


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

(単位：百万円)

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減	前年同期比
売上高	33,388	35,237	1,849	5.5%
売上原価	26,627	27,069	442	1.7%
販売費・一般管理費	3,704	3,657	△ 46	△ 1.3%
営業利益	3,056	4,510	1,453	47.6%
営業外収益	174	364	189	108.9%
営業外費用	273	238	△ 35	△ 12.8%
経常利益	2,957	4,636	1,678	56.8%
特別利益	20	—	△ 20	—
特別損失	6	—	△ 6	—
税金等調整前四半期純利益	2,971	4,636	1,665	56.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,004	3,235	1,230	61.4%
(減価償却費)	1,360	1,330	△ 30	△ 2.2%

貸借対照表（連結）

(単位：百万円)

	2025/3月末	2025/12月末	増減
流動資産	23,581	23,983	401
現金及び預金	5,054	3,863	△ 1,191
受取手形及び売掛金	11,665	12,238	572
棚卸資産 ※	6,518	7,392	874
固定資産	22,257	24,126	1,869
有形固定資産	17,828	19,449	1,620
無形固定資産	45	49	4
投資その他の資産	4,382	4,627	244
資産合計	45,838	48,109	2,271
流動負債	11,004	12,063	1,058
支払手形及び買掛金	3,441	4,144	703
短期借入金	4,342	5,121	778
固定負債	6,956	5,784	△ 1,171
長期借入金	3,996	2,575	△ 1,420
退職給付に係る負債	2,549	2,562	13
純資産合計	27,877	30,262	2,384
株主資本	26,088	28,282	2,194
その他の包括利益累計額	1,789	1,979	190
<自己資本比率>	60.8%	62.9%	2.1%

※ 棚卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

2026年3月期の業績予想 (2026年2月12日見直し)

- 化成品事業は、半導体向け高純度リン酸が海外を中心に堅調に推移し、増収増益を見込む。
- 機械事業は、土木機械は増収ながら、建設機械が減収で、売上高は減収を見込む。利益は前期の棚卸資産評価損がないことから増益を見込む。
- 電子材料事業は、化合物半導体市況が堅調に推移するとともに、ガリウムのスポット販売もあり、増収増益を見込む。

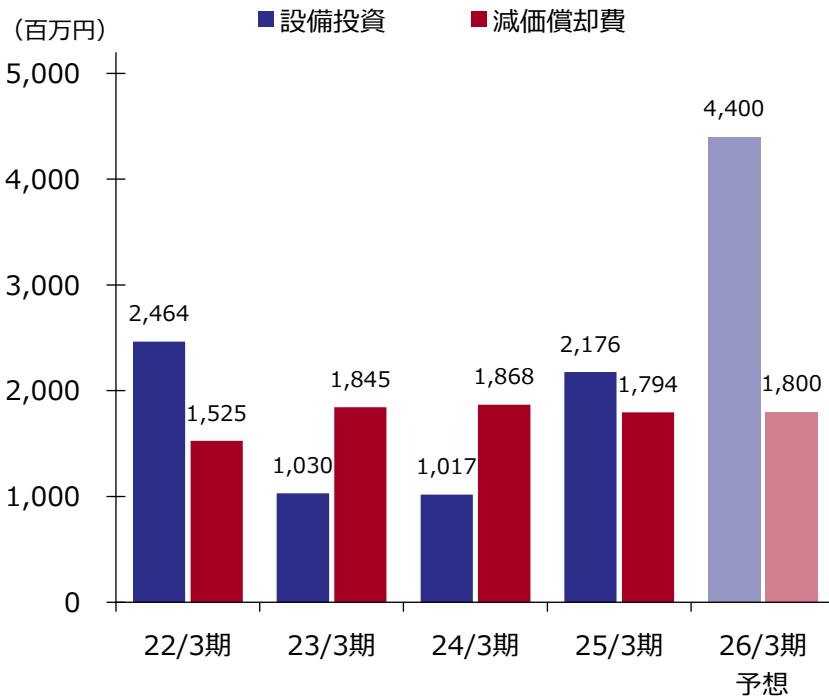
(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期予想	増減	前年同期比	(参考) 期初予想
売上高	45,421	47,700	2,278	5.0%	49,200
化成品事業	38,168	40,100	1,931	5.1%	42,000
機械事業	4,491	4,100	△ 391	△ 8.7%	4,500
電子材料事業	1,574	2,300	725	46.0%	1,600
その他の事業	1,186	1,200	13	1.1%	1,100
営業利益	4,736	5,800	1,063	22.5%	5,100
化成品事業	4,840	5,500	659	13.6%	5,100
機械事業	119	300	180	151.7%	400
電子材料事業	244	600	355	145.6%	200
その他の事業	764	700	△ 64	△ 8.4%	700
全社費用など	△ 1,232	△ 1,300	△ 67	—	△ 1,300
経常利益	4,602	6,000	1,397	30.4%	4,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,131	4,200	1,068	34.1%	3,300
1株配当金	120円	170円	50円	41.7%	128円

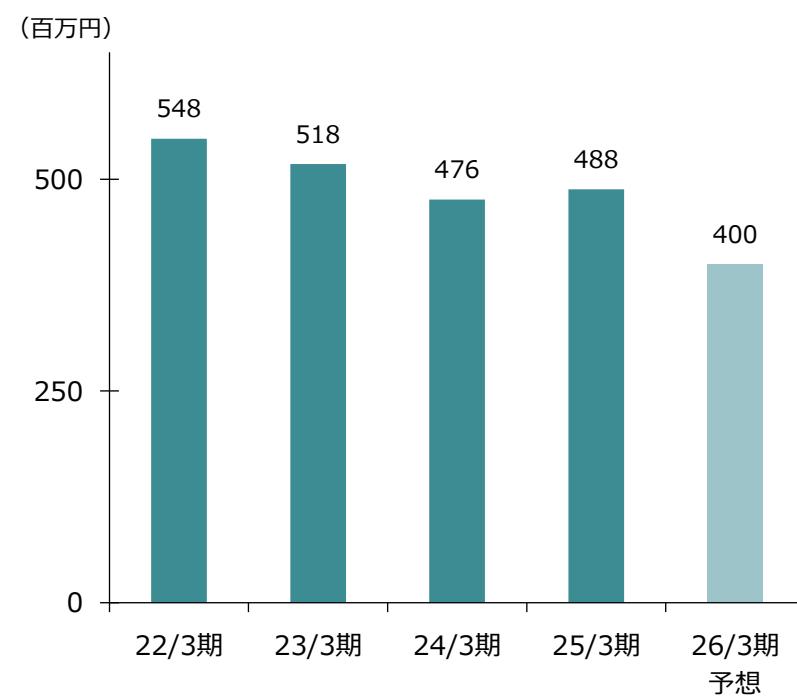
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、化成品事業において、前期に引き続き、台湾子会社の半導体向け高純度リン酸の製造設備増設を実施（投資額 約30億円、台湾の生産能力4割アップ、2026年3月期に完工予定、年間償却費約4億円）。その他は主に維持更新投資が中心。
- 研究開発費は、主に開発センターにおける研究開発活動に係る費用。電子材料事業の放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発は、2021年3月期から2025年3月期まで5年間実施し、一旦区切り。

設備投資・減価償却費



研究開発費



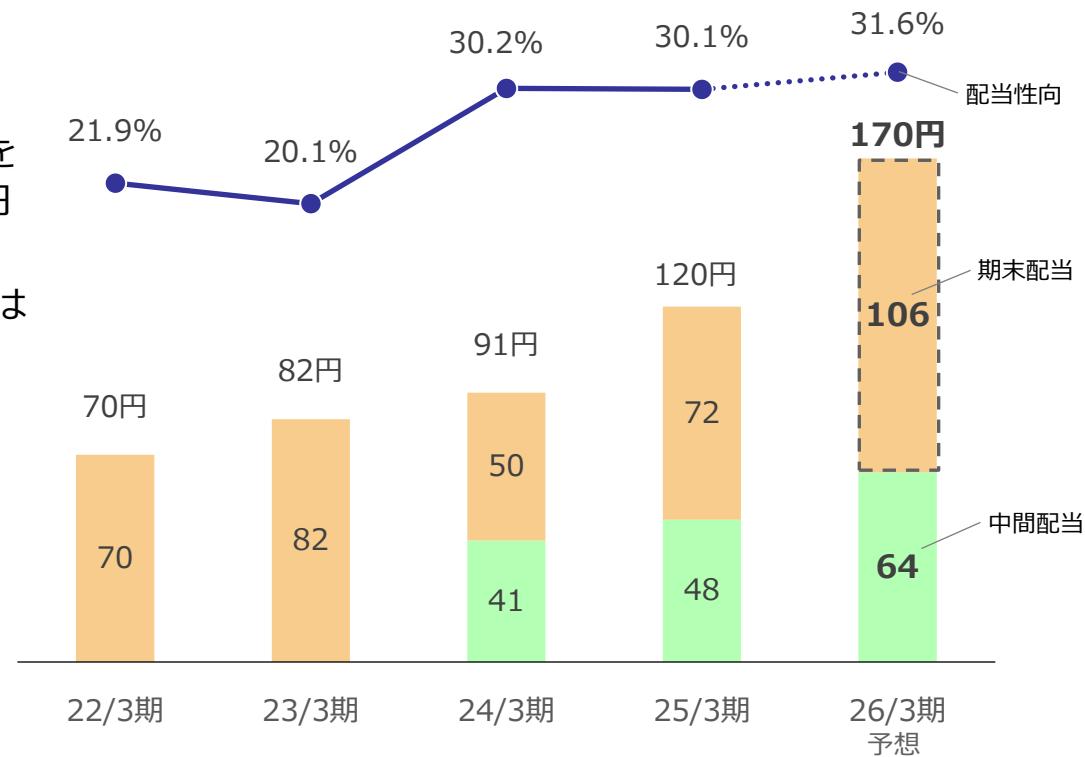
株主還元方針

- 株主への利益還元を重視しつつも、業績の推移を勘案した財務体質改善および将来の設備投資や事業展開の原資としての内部留保の調和を総合的に検討し決定する。
- 安定配当を堅持しつつ配当性向の更なる向上を目指す。
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応として、

「配当性向30%以上、ROE10%以上」 を目標に設定。

2026年3月期

- 期末配当は、業績予想の上方修正を踏まえ、直近予想の1株当たり64円から42円増配の106円を予定
- 中間配当64円と合わせ、年間配当は170円を予定



株式分割について

目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げるにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

概要

分割の割合 ► 当社普通株式 1 株につき、5 株の割合で分割
基 準 日 ► 2026年3月31日
効力発生日 ► 2026年4月1日

※ 今回の株式分割は、2026年4月1日を効力発生日としており、2026年3月31日を基準日とする2026年3月期の期末配当金につきましては、株式分割前の普通株式数を基準に実施いたします。

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものとご理解下さい。

—IRに関する問い合わせ窓口—
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835